

令和7年度 第1回 技術研修会 プログラム

- | | |
|-------|--|
| 1 日 時 | 令和 7年9月26日(金) |
| 2 場 所 | 北九州市生涯学習総合センター 21学習室
北九州市小倉北区大門一丁目6番43号 |
| 3 受 付 | 13:00 より |
| 4 研 修 | 13:30～15:45 [2部構成] |

【第1部】ダクタイトイル鉄管によるパイプ・イン・パイプ工法(押込工法)設計と施工

研修時間 : 13:30～14:45(質疑応答含む)

講 師 : ダクタイトイル鉄管協会 吉村充基氏

ダクタイトイル鉄管によるパイプ・イン・パイプ工法(押込工法) 設計と施工

パイプ・イン・パイプ工法(PIP 工法)は、既設管または新設のさや管の中へ PN 形ダクタイトイル鉄管を挿入する工法です。近年、交通量の増大や地下埋設物の輻輳などにより開削工法を用いた水道管布設が難しくなっており、その代替手段のひとつとして PIP 工法(押込工法)が広く採用されています。本講義では、PIP 工法を計画、設計いただくにあたっての注意点を中心に解説します。

【休 憩】14:45～14:55

【第2部】[1] ICT を活用したダクタイトイル鉄管管路の施工管理

研修時間 : 14:55～15:40(質疑応答含む)

講 師 : ダクタイトイル鉄管協会 吉村充基氏

ICT を活用したダクタイトイル鉄管管路の施工管理

近年、水道事業就業者の減少・高齢化が進み、水道管の経年化率は年々上昇、管路更新率は低水準で停滞しています。この現状の中、担い手3法が令和 6 年に改正され、公共工事において、ICT を活用した現場管理が努力義務化されました。当協会はダクタイトイル鉄管管路工事における ICT の活用として、施工管理システムの導入を推奨しています。本講義ではそのシステムの機能や期待される導入効果について紹介します。